

# 建築物維持管理報告書

年 月 日

(あて先) 福岡市 保健所長

住所  
届出者  
氏名  
(法人にあつてはその名称,主たる事務所の所在地及び代表者の氏名)  
電話 担当者

特定建築物の名称		
特定建築物の所在場所		
主たる用途		専ら事務所・事務所・その他( )
建築物環境衛生 管理技術者	氏名	
	所属(会社名等)	

維持管理状況 (注: [※ ] の箇所は, 該当項目を○で囲むこと。)

(1) 空気環境の測定 [※ 該当あり・該当なし ]

換気方式		[※ 中央管理(空気調和)・中央管理(機械換気)・ 中央管理外(空気調和)・中央管理外(機械換気)・その他]					
測定実施者	氏名						
	所属(会社名等)						
空気環境測定実施月日		/	/	/	/	/	/

ホルムアルデヒド量の測定 [※ 該当あり・該当なし ]

新築竣工日		年	月	日
大規模改修日		年	月	日
測定実施者	氏名			
	所属(会社名等)			
ホルムアルデヒド量の測定実施年月日		年	月	日

(2) 空気調和設備の管理 [※ 該当・該当なし]

供給水の種類		冷却塔 ( ) ・ 加湿装置 ( )					
冷却塔点検等 実施者	氏名						
	所属(会社名等)						
冷却塔点検等実施月日		/	/	/	/	/	/
冷却塔定期清掃実施年月日		年 月 日					
冷却塔の 水管洗浄	方法						
	使用薬剤等						
加湿装置・排 水受け定期点 検等実施者	氏名						
	所属(会社名等)						
加湿装置・排水受け定期点検等実施月日		/	/	/	/	/	/
加湿装置定期清掃実施年月日		年 月 日					

(3) 給水の管理

給水の区分		専用水道・簡易専用水道・小規模受水槽水道・直結					
飲料水等使用量 [※ 市水道水・井水・併用]		市水道水 m <sup>3</sup> /日			井水 m <sup>3</sup> /日		
残留塩素の 測定実施者	氏名						
	所属(会社名等)						
水質検査	水質検査機関						
	実施年月日	年 月 日 [※15項目・省略項目]			年 月 日 [※15項目・省略項目]		
	消毒副生成物 (6月から9月に実施)	実施年月日 年 月 日					
簡易専用水道法定検査実施年月日		年 月 日					

貯水槽清掃	貯水槽の種別	実施者(会社名等)	実施年月日			
	受水槽(有効容量 m <sup>3</sup> )		年 月 日			
	高置水槽(有効容量 m <sup>3</sup> )		年 月 日			
	その他( )		年 月 日			

滅菌機使用	[※ 有・無]
-------	---------

防錆剤使用 [※ 有・無]	防錆剤管理責任者	氏名					
		所属(会社名等)					
	品名及び成分						
	含有率検査機関						
	検査実施月日		/	/	/	/	/

(4) 給湯の管理 [※ 該当あり・該当なし]

給湯方式		[※ 中央式(貯湯槽あり・貯湯槽なし)・局所式]			
残留塩素 (又は温度)の 測定実施者	氏名				
	所属(会社名等)				
水質検査	水質検査機関				
	実施年月日	年 月 日 [※15項目・省略項目]	年 月 日 [※15項目・省略項目]		
	消毒副生成物 (6月から9月に実施)	実施年月日	年 月 日		
貯湯槽清掃	実施者(会社名等)				
	実施年月日	年 月 日			

(5) 雑用水の管理 [※ 該当あり・該当なし]

雑用水の使用	用途(原水・給水の種類) (注)原水・補給水の 種類は、下水道局供給水 ・井水・雨水・厨房排水・ 市水道水等を記入	水洗便所(原水: 補給水: )・ 散水(原水: 補給水: )・ 修景施設(原水: 補給水: )・ 清掃(原水: 補給水: )・ その他(原水: 補給水: )			
	残留塩素・pH 値・臭気・外観 の測定実施者	氏名 所属(会社名等)			
水質検査 (濁度・大腸菌)	水質検査機関				
	実施月日	/	/	/	/
雑用水の水槽の清掃年月日		年 月 日			

(6) 排水の管理 [※ 該当・該当なし]

排水槽清掃	排水槽の種類	実施者(会社名等)	実施年月日
	汚水槽		年 月 日 年 月 日
	雑排水槽		年 月 日 年 月 日
	浄化槽,湧水槽等 ( )		年 月 日 年 月 日

(7) 清掃等

大掃除実施者(会社名等)		
実施年月日	年 月 日	年 月 日

## (8) ねずみ等の防除

防除実施者（会社名等）			
発生場所等調査の実施年月日	年	月	日
防除作業を実施した場合	措置内容		
	実施年月日	年	月 日

## (9) 吹付けアスベスト等の管理 [※ 該当あり ・ 該当なし ・ 不明 ]

該当あり の場合	使用箇所		[※良好・不良]
			[※良好・不良]
			[※良好・不良]
	措置状況	完了	内容 実施年月日 年 月 日
		予定	内容 実施予定年月日 年 月 日
不明の場合		調査予定年月日 年 月 日	

## 添付書類

### 1 空気環境関係

- (1) 空気環境測定記録の写し
- (2) ホルムアルデヒド測定記録の写し
- (3) 粉塵計較正票の写し

### 2 空気調和設備関係

- (1) 冷却塔定期清掃記録の写し  
(※写真(デジタルカメラ可)は現物(カラー)又はカラーコピーを添付してください。)
- (2) 冷却水水管清掃記録の写し  
(※実施年月日・実施者・使用薬剤の記録を添付してください。)
- (3) 加湿装置定期清掃記録の写し  
(※写真(デジタルカメラ可)は現物(カラー)又はカラーコピーを添付してください。)
- (4) 冷却塔・加湿装置・空気調和設備内に設けられた排水受けの定期点検記録の写し
- (5) 冷却塔等水水質検査結果の写し
- (6) 冷却塔等水のレジオネラ属菌自主検査をした場合は、検査結果の写し

### 3 給水, 給湯関係

- (1) 飲料水及び給湯水(中央式給湯の場合)の残留塩素測定結果及び水質検査結果の写し
- (2) 簡易専用水道に該当する施設は、水道法第34条の2第2項に定める厚生労働大臣の指定する検査機関による法定検査結果の写し
- (3) 貯水槽及び貯湯槽の清掃記録の写し  
(※写真(デジタルカメラ可)は現物(カラー)又はカラーコピーを添付してください。)
- (4) 貯水槽及び貯湯槽の清掃作業従事者の腸内細菌検査結果の写し  
(※検査結果は清掃前半年以内のものを添付してください。)
- (5) 防錆剤使用施設は、防錆剤含有率検査結果の写し

### 4 雑用水関係

- (1) 残留塩素・pH値・臭気・外観の測定結果の写し(残留塩素は遊離残留塩素か結合残留塩素かの別)
- (2) 濁度・大腸菌の検査結果の写し
- (3) 雑用水の水槽清掃記録の写し  
(※写真(デジタルカメラ可)は現物(カラー)又はカラーコピーを添付してください。)

### 5 排水槽, 浄化槽の清掃実施記録の写し

- (※写真(デジタルカメラ可)は現物(カラー)又はカラーコピーを添付してください。)  
(浄化槽については、浄化槽法第11条法定検査結果の写しも添付してください。)

### 6 大掃除の実施記録の写し

### 7 ねずみ等の防除

- (1) 発生場所等調査記録の写し
- (2) 防除の実施記録の写し

### 8 来年度の建築物維持管理計画表



## 建築物維持管理報告書の記載要領

はじめに

添付書類については、「建築物維持管理報告書」の項目順に並べて提出してください。

### 1 届出者

- ・特定建築物届出者の住所、氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び電話番号を記入する。
- ・担当者の氏名、所属及び電話番号を記入する。（報告書の内容についてお尋ねすることがあります。）

### 2 特定建築物の名称

- ・保健所に届け出た名称を記入する。

### 3 特定建築物の所在場所

- ・特定建築物の所在する住所を記入する。

### 4 主たる用途

- ・特定建築物の主たる用途を記入する。

### 5 建築物環境衛生管理技術者

- ・建築物環境衛生管理技術者の氏名及び所属する会社名等を記入する。

### 6 維持管理状況

#### (1) 空気環境の測定

空気環境の測定について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「換気方式」種別のうち該当するものを○で囲む。

中央管理（空気調和）	：中央管理で温度・湿度をコントロールできるもの
中央管理（機械換気）	：中央管理で外気を導入して空気を浄化して流量調節できるもの
中央管理外（空気調和）	：フロアごと（あるいはゾーン・各部屋ごと）に制御する設備で温度・湿度をコントロールできるもの
中央管理外（機械換気 <sup>*</sup> ）	：フロアごと（あるいはゾーン・各部屋ごと）に制御する設備で外気を導入して空気を浄化して流量調節できるもの
その他	：上記以外のもの（換気システムがない等）

※居室の換気を目的とする第3種換気法についても機械換気となります。

- ・「測定実施者」実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「空気環境測定実施日」測定を実施した月日を記入する。

#### ホルムアルデヒド量の測定

ホルムアルデヒド量の測定について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「新築竣工日」新築竣工日を記入する。
- ・「大規模改修日」大規模改修日を記入する。
- ・「測定実施者」実施者の氏名・所属を記入する。
- ・「ホルムアルデヒド量の測定実施日」測定を実施した月日を記入する。

#### (2) 空気調和設備の管理

空気調和設備（冷却塔・加湿装置）の管理について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「供給水の種類」冷却塔及び加湿装置への供給水の種類について該当する項目を記入する。
- ・「冷却塔点検等実施者」実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「冷却塔点検等実施月日」点検を実施した月日を記入する。（使用期間も記入お願いします。）
- ・「冷却塔の水管洗浄」洗浄の方法と使用薬剤等を記入する。
- ・「冷却塔定期清掃実施年月日」定期清掃を実施した年月日を記入する。
- ・「加湿装置・排水受け定期点検等実施者」実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「加湿装置・排水受け定期点検等実施月日」点検等を実施した月日を記入する。（使用期間も記入お願いします。）
- ・「加湿装置定期清掃実施年月日」定期清掃を実施した年月日を記入する。

(3) 給水の管理

- ・「飲料水等使用料」飲料水の水源の種類について「市水」、「井水」、「併用」のうちから該当するものを○で囲み、使用量を水源の種類ごとに記入する。
- ・「残留塩素の測定実施者」実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「水質検査」水質検査機関の名称を記入し、あわせて、水質検査の該当項目も○で囲み、実施年月日を記入する。
- ・「給水の区分」給水の区分のうち該当するものを○でかこむ。
- ・「簡易専用水道法定検査実施年月日」簡易専用水道該当施設については、法定検査の実施年月日を記入する。
- ・「貯水槽清掃」貯水槽の種別毎に有効容量を記入し、清掃の実施者名及び実施年月日を記入する。
- ・「滅菌器使用」塩素滅菌器の有無を○で囲む。
- ・「防錆剤使用」使用の有無を○で囲む。  
使用している施設は、防錆剤管理責任者名、使用している防錆剤の品名及び成分名、含有率検査機関名並びに実施年月日を記入する。

(4) 給湯の管理

給湯水の管理について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「給湯方式」について「中央式（貯湯槽あり）」、「中央式（貯湯槽なし）」、「局所式」のうちから該当するものを○で囲む。
- ・「残留塩素（又は温度）の測定実施者」実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「水質検査」水質検査機関の名称を記入し、あわせて、水質検査の該当項目も○で囲み、実施年月日を記入する。
- ・「貯湯槽清掃」貯湯槽の清掃の実施者名及び実施年月日を記入する。

(5) 雑用水の管理

雑用水の管理について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「用途」用途ごとに、原水、補給水の種類を記入する。
- ・「残留塩素等の測定実施者」残留塩素等（pH値・臭気・外観を含む。）の測定実施者の氏名、所属を記入する。
- ・「水質検査」大腸菌等の水質検査機関の名称と、実施月日を記入する。
- ・「雑用水の水槽の清掃年月日」清掃年月日を記入する。

(6) 排水の管理

排水の管理について、「該当あり」、「該当なし」のいずれかを○で囲む。

- ・「排水槽清掃」排水槽の種類毎に清掃の実施者名及び実施年月日を記入する。

(7) 清掃等

- ・「大掃除実施者」実施者名を記入する。
- ・「実施年月日」実施年月日を記入する。

(8) ねずみ等の防除

- ・「防除実施者」実施者名を記入する。
- ・「発生場所等調査の実施年月日」調査実施年月日を記入する。  
【防除作業を実施した場合】
- ・「措置内容」と「実施年月日」を記入する。

## (9) 吹き付けアスベスト等の管理

この報告書で「吹き付けアスベスト等」とは、次の2つを指します。

- ① いわゆる「吹付けアスベスト（石綿）」、「吹付けロックウール」及び「吹付けひる石（パーミキュライト）」と呼ばれるもので、含有するアスベストの重量が当該製品の従量の0.1%を超えるもの。
- ② 「折板裏打ちアスベスト（石綿）断熱材」  
（鋼板製屋根用折板等に主として結露防止等のために張り付けられたもので、アスベストを含有するもの。）

なお、日本国内ではアスベストのうち、「アモサイト、クリソタイル及びクロシドライト」の3種類が吹き付け材等に使用されたと考えられていましたが、「アクチノライト・アンソフィライト及びトレモライト」の3種類を含有することがあることも判明したため、過去に行ったアスベスト分析調査で6種類すべてを対象としていたかを確認する必要があります。

アスベスト6種類を含む吹き付けアスベスト等の使用箇所の有無について、「該当あり」、「該当なし」、「不明のいずれかを○で囲む。

報告対象年度（平成21年に報告するものは、平成20年度が対象）より前に、建築物のアスベストをすべて除去した場合は「該当なし」を○で囲む。報告対象年度にすべて除去した場合は「該当あり」を○で囲み、使用箇所等を記入する。

### 【該当ありの場合】

- ・「使用箇所」吹き付けアスベスト等が使用されている箇所を記入し、その現状が「良好」か「不良」かを○で囲む。
- ・「措置状況」完了には、囲い込みや報告対象年度における除去など、措置の実施状況について、その内容と実施年月日を記入する。予定には、囲い込みや除去など、措置の予定について、その内容と実施予定年月日を記入する

### 【不明の場合】

- ・「調査予定年月日」調査予定があれば、その年月日を記入する。